

# 「元気いっぱい・笑顔いっぱい」



特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

## 発想の転換

コップに半分の水が入っていたとき、「半分しか入っていない」と捉えたと、がっかりした気持ちになりますが、「まだ半分も入っている」と考えると、うれしい気持ちになります。このように物の見方や考え方を少し変えるだけで、前向きな気持ちになれます。「発想の転換」は、子どもの指導・支援にも役立ちます。

### ○子どもの問題行動の見方・考え方

問題行動を起こしている子どもを目の当たりにすると、どうしても「困った子ども」であると考えてしまい、指導の成果が上がらないことを子どものせいにならうとする。しかし、「困っているのは子ども」であると発想の転換をすると、次のような見方ができる。

- ・問題行動は、子どものSOSのサインであり、最も辛い選択をしている。
  - ・問題行動は、発達要求の表れであり、コミュニケーション手段である。
  - ・問題行動は、成長するための必要行動である。
  - ・問題行動は、対象児と周りの環境とのミスマッチで起きている。
  - ・問題行動を一番減らしたいと思っているのは、子ども本人である。
- 子どもの見方を変えて子どもの味方になると、有効な手立てが見えてきます。



### ○問題：発想の転換をして（ ）に当てはまる言葉を入れましょう。

例	困った子ども	→	困っている子ども
1	子どもを変える	→	( )
2	なぜできないの!	→	( )
3	やる気のない子	→	( )
4	～しかできない子	→	( )
5	みんなに同じ支援	→	( )
6	一人の子の困り感	→	( )

☆模範解答を次号で紹介します。



**とれたて直送便**



「子育てが楽しくなるQ&A」が完成!

昨年度、5歳児健診や就学時健診の保護者面談で、「食べ物の好き嫌が多い」「親から離れられない」「手先が不器用である」「かんしゃくが強い」「発音が不明瞭である」「平仮名の勉強をさせた方がいいですか」などの相談を受けました。

そこで、保護者の悩みに応えるために、「子育てが楽しくなるQ&A」を作成しました。「親年齢は子どもの年齢と同じなので、うまくいかないことがあっても当たり前です。肩の力を抜いて、おだやかに・くりかえし・ゆっくりを合い言葉に子育てを楽しんでください」と、保護者への応援メッセージを添えています。今年度、5歳児健診や保護者学習会等で配付する予定です。希望される方は、お近くの教育委員会または [masaru-kagaya@city.noshiro.lg.jp](mailto:masaru-kagaya@city.noshiro.lg.jp) にご連絡ください。今ならもれなく無料で提供します。(☺)